

令和５年度 第１回総合教育会議録

日 時 令和５年４月１１日（火）午後２時００分から午後３時１５分まで

場 所 本庁舎３階 第１・第２・第３委員会室

出席者 小林市長、宇野教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人教育委員、
白須康子教育委員、山崎亜由子教育委員、矢光重敏教育委員
坂本総務部長、横瀬企画財政課長、杉本企画担当リーダー、企画担当佐藤、
紫村
卯月教育次長、山口社会教育課長、
藤本学校教育課学校づくり担当リーダー

傍聴者 傍聴人なし

市長挨拶

本日はご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。教育委員の皆様には、日頃から本市教育行政の推進に御尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、コロナ禍において、感染症対策と教育活動の両立に大変な御尽力をいただいきました教職員の皆様に対しても、心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの流行から３年が経過し、５月８日からは感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ５類感染症へと引き下げられることが決まっており、ウィズコロナの社会への転換と日常への回復が一気に加速しようとしています。

コロナ禍において「児童生徒の学びの保障」のためＩＣＴ教育が加速し、本市においては児童生徒一人一台パソコンや電子黒板を令和２年度に導入・本格運用を開始しました。昨年１０月からは家庭への持ち帰りを開始し、学習の個別最適化に向けＡＩドリルの導入も行いました。

今後におきましては、新学習指導要領の趣旨に沿い、ＩＣＴ機器を活用した学習指導法を推進したいと考えております。

また、今年度も「大月っ子学習サロン」や「大月サマースクール」を継続するとともに、全小学校へのコミュニティスクールの導入も推進したいと考えております。

本年度も、皆様のお力をお借りする中で、市内の児童・生徒がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、教職員、保護者、地域の皆様とともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えております。

本日の議題は、「令和５年度学校教育の指針」についての１件であります。活発なご意見をいただき、ご審議のほどお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

教育長挨拶

小林市長におかれましてはご多忙の中、今日はお時間を取っていただきありがとうございます。それでは一言ご挨拶を申し上げます。

3年間に渡って蔓延してきましたコロナ禍も終息の方向に進みつつあり、この先に明るい希望の光が見えてきたように感じます。まさに今日の天気のような気持ちでいます。ようやく、学校本来の教育を進めることが出来ることに、喜びと解放感を感じます。

大月市子どもたちも先生方も、例年に増して明るい新鮮な気持ちで学校に顔を向けています。今日も校長先生方も大勢こちらに来てくださいますけど、そんな話を聞いております。

そんな先生方や子どもたちのおかげで、4年目を迎えました。私も新しい気持ちで心を耕す豊かな教育活動が出来て、自ら学ぶ力を身に付けられるよう、そして、子どもたちの笑顔がたくさん見られる日々となるよう、学校と緊密に連絡して参ろうと思っております。

この後、「令和5年度 大月市学校教育指針」について審議をしていただきますが、たくさんのご意見をいただく中で、内容がさらに掘り下げられ、共有できれば有難く存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

議 事

(1) 令和5年度大月市学校教育の指針について

説明者 宇野教育長

【内容】

「令和5年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

協議の結果、原案のとおり承認された。